



クラブ運営の基本方針

2020－2021年度

会 長 落 合 伸 一

2020～2021年度 国際ロータリークラブ会長 ホルガー・クナーク氏は「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに掲げ、奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生み出すものであると、私たちは信じている。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれると述べてます。

第2780地区の久保田英男ガバナーは、地区の方針として「TOGETHE+もっと自由に」を掲げ、楽しむための一番の方法は、協議会や国際大会のような大勢の会議であれ、奉仕プロジェクトや例会であれ、皆が集まること (together) です。集まれば、より活動的になることができます。仲間が集い (together)、おなじ目標に向けて協力し進むことで、一人では不可能なことを可能にします。と述べられています。

横須賀西ロータリークラブでは、創立50周年の節目を迎えます。と同時に全世界で新型コロナウイルスの感染拡大により、社会・経済など大きな被害を出し、例会休会や奉仕活動中止などロータリー全体にも影響がでています。

2020年11月に予定していた、50周年記念事業のチャリティーコンサートと式典を式典会場の使用中止などの影響と第2波・第3波を考え、2021年4月に延期します。また、毎年7月に行っている青少年奉仕委員会の春光学園ビーチパーティーはコロナウイルスの影響で中止となりました。

今年度は、新型コロナウイルス対策を重視し、新しくオンライン例会を導入します。また会員の皆様の事業にも多大なる影響が出していますので、オンライン例会を導入し、会費を減額してまいります。会員の顔・声・仕事状況などを確認し合い、新型コロナウイルスに立向かい、負けない絆を維持していきたいと考えています。50年の節目にふさわしい新たな例会・西クラブのスタートです。

そして、実施出来る継続奉仕活動や50周年記念行事はみんな協力し、一生懸命に活動し、笑顔が絶えない活気ある西クラブにしていきます。会員が満足するクラブを取り戻していきたいと思えます。いつか小さな灯が、大きな光に輝くことを期待し、一年間頑張っていきたいと思えます。

本年度の目標は

1. 50周年記念行事の成功に努めます。
2. 現在14名の退会防止と、純増1名の確保に全力にあたります。
3. 献血運動・50周年記念チャリティーコンサートの継続奉仕活動が無事に開催できるように努めます。
4. 緊急時の例会をオンラインに切替、スムーズにできるように努めます。